

台風15号による生産者・メーカーの被害状況について

いつも自然派くらぶ生協をご利用いただきましてありがとうございます。

9月8日に関東平野に上陸しました台風15号で被害があった地域の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

台風15号の産地被害について把握を進めておりますが、停電などにより連絡が取れない生産者もあり、被害の全容が確認できない状況です。9月13日時点での状況をお伝えします。

被災産地・生産者

【千葉産直センター】

畑の9割に当たるビニールハウスのビニールが飛ばされ、有機栽培の葉物野菜は今後しばらく出荷が出来ない状況。生産者自宅の被害もあり。

【千葉北部酪農農業協同組合】

停電により製造が出来ない状況。停電の復旧見通し立たず。

【丸和食品】

停電により工場が長時間稼働しなかったため、機械などの点検、出荷準備に入る。加工度が高い商品は、出荷が難しい場合がある。

【よつ葉乳業（千葉）】

停電により一部製品の製造が出来ない状況。

【千倉水産加工】

商品のパッケージが浸水し、一部パッケージを変更してお届けする見込み。

【さんぶ野菜ネットワーク（千葉）】

生産者と連絡が取れず、今後しばらく出荷が止まる見込み。

【埼玉県産直協同】

埼玉県久喜市にある梨農家 渡辺さんの梨が、強風により全て落下。10月以降の新高等の品種は無事。

【埼玉産直センター】【埼玉県産直協同】【茨城県西産直センター】

強風によりナス傷果が増える見込み。

●比較的被害のなかった産地・生産者

野菜産地：【八王子ファーム】【愛川有機農業研究会（神奈川）】【野菜くらぶ（群馬）】

果物産地：【マルツボ加工センター】強風により梨が約3割落下、栗の木が折れるが供給に影響なし。

たまご：【山下養鶏（東京、あきる野市）】【伊豆鶏業（静岡、伊豆）】